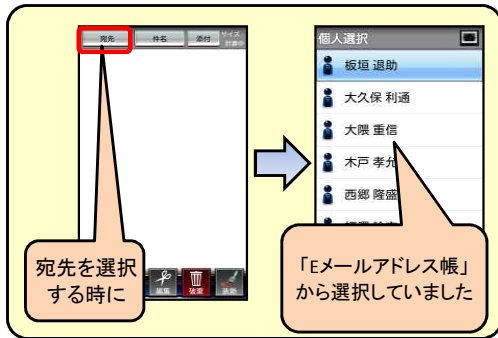


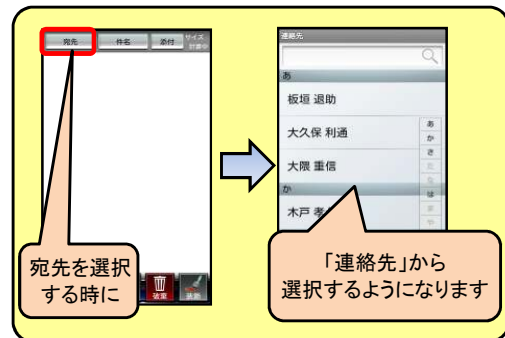
Eメール機能のアップグレードに関するお知らせ

ソフトウェア更新実施後の変更点

●本体の「連絡先」のアドレス情報を利用
受信メールの名前表示が連絡先の登録名で表示されるようになり、Eメールの宛先は連絡先から選べるようになります。
連絡先のデータを追加や変更した場合には、Eメールアドレス帳にコピーする操作が必要でしたが、ソフトウェア更新後は不要となります。



ソフトウェア更新前



ソフトウェア更新後

※ 今までお使いのEメールアドレス帳は閲覧のみ可能となります。Eメールアドレス帳のデータは連絡先に移すことで、引き続きご利用いただけます。詳しい手順は、3ページ以降の手順[2]、[3]をご参照ください。

●「Eメール着信音」「指定全受信」の設定方法
これまでEメールアドレス帳で設定していたEメール着信音と指定全受信は、設定方法が変わります。以前の設定は自動的に引き継ぐことができます。詳しい手順は2ページの手順[1]をご参照ください。

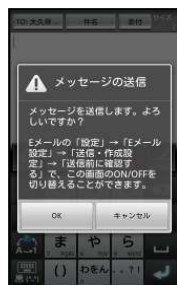


ソフトウェア更新前



ソフトウェア更新後

●Eメール送信時の送信確認画面の表示
ソフトウェア更新後は、Eメールの送信時に送信確認画面が表示されます。
この確認画面を表示する／しないの設定は、6ページの手順[7]をご参照ください。



ソフトウェア更新実施後のお願い

Eメール機能を今まで通りにお使いいただくために、ソフトウェア更新後に下記の操作が必要です。


- 手順[1]Eメール着信音・指定全受信設定の引き継ぎをする ※
- 手順[2]Eメールアドレス帳のデータをvCardに出力する
- 手順[3]vCardで出力したEメールアドレス帳のデータを連絡先にレストア(=データの復元)する

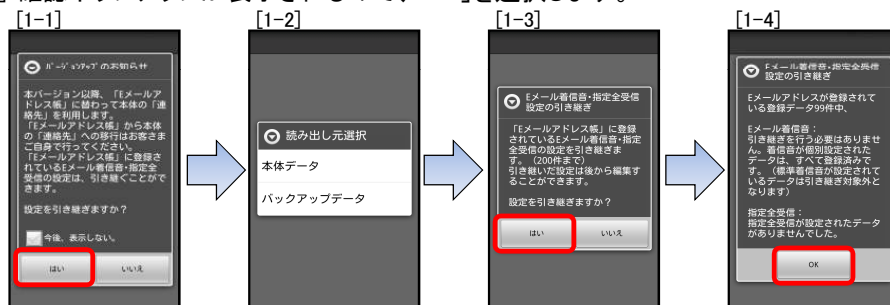
- ◆Eメールアドレス帳の編集をしていない場合
(連絡先からコピーした後、編集していない場合も該当します)
⇒手順[1]のみ行ってください。
- ◆Eメールアドレス帳で氏名やメールアドレスなどを編集していた場合
⇒手順[1]、[2]、[3]を行ってください。

※Eメール着信音・指定全受信の設定について
引継ぎ後の設定・編集方法については、4ページ以降の手順[4]、[5]をご参照ください。

●Eメール着信音・指定全受信設定の引き継ぎをする

[1] Eメール起動時に引き継ぎをする

- [1-1] ホーム画面で  を選択します。
Eメール着信音と指定全受信設定を引き継ぐポップアップが表示されるので、「はい」を選択します。
- [1-2] 設定を引き継ぐEメールアドレス帳を選択します。
- [1-3] 確認ポップアップが表示されるので、「はい」を選択します。
- [1-4] 確認ポップアップが表示されるので、「OK」を選択します。



(ソフトウェア更新前に、Eメール指定全受信を設定している場合は、設定を有効にするため、以下の手順[1-5]～[1-7]を行ってください。)

- [1-5] Eメール画面で、**MENU** →「設定」→「Eメール設定」を選択します。
- [1-6] 「受信・表示設定」を選択します。
- [1-7] 「メール受信方法」を選択し、メール受信方法の設定値を「本体連絡先指定全受信」から「Eメール指定全受信」に変更します。



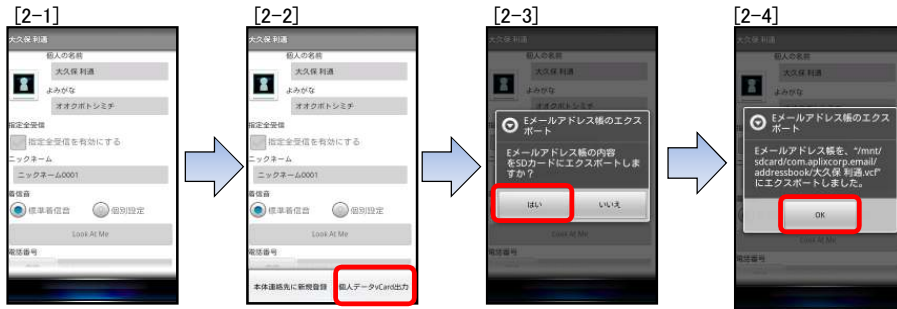
- ※ 設定を引き継ぐEメールアドレス帳が複数ある場合には、手順[1-1]～[1-4]を繰り返します。
- ※ 手順[1-1]のポップアップを表示させない場合には、「今後、表示しない。」にチェックを付けます。
- ※ 「今後、表示しない。」にチェックを付けた後でEメール着信音と指定全受信の引き継ぎをする場合には、Eメールアドレス帳閲覧画面で **MENU** →「Eメール着信音・指定全受信設定の引き継ぎ」を選択します。
- ※ Eメール着信音と指定全受信設定で設定できるのはそれぞれ最大200件となります。引き継ぎの途中で200件を超えた場合には200件目以降のデータは設定されませんが、後からそれぞれの設定を編集することができます。編集の手順は4ページの手順[4]、[5]をご参照ください。

●Eメールアドレス帳のデータを連絡先に移す

Eメールアドレス帳のデータは、vCardに出力して連絡先にレストア(=データの復元)をすることで、連絡先に移すことができます。以下の手順[2]、[3]をご参照ください。

[2] Eメールアドレス帳のデータをvCardに出力する

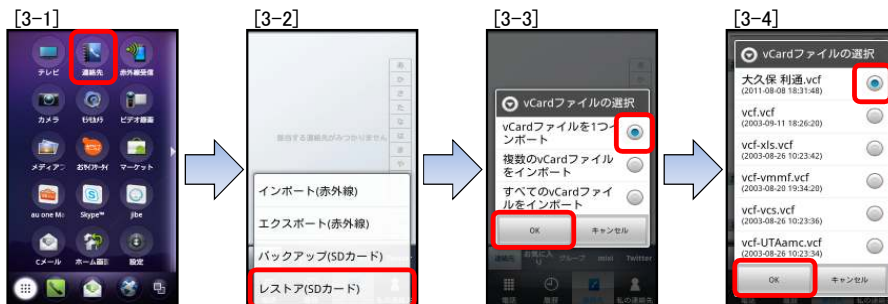
- [2-1] Eメールアドレス帳閲覧画面でvCardに出力する個人データを表示します。
- [2-2] **[MENU]** →「個人データvCard出力」を選択します。
- [2-3] 確認のポップアップが表示されるので、「はい」を選択します。
- [2-4] 確認のポップアップが表示されるので、「OK」を選択します。



※ Eメールアドレス帳の全件のデータを一つのvCardに出力することもできます。
その場合は、Eメールアドレス帳閲覧画面で、**[MENU]** →「全件vCard出力」を選択します。

[3] vCardで出力したEメールアドレス帳のデータを連絡先にレストア(=データの復元)する

- [3-1] メインメニューで **[連絡先]** を選択します。
- [3-2] **[MENU]** →「その他」→「レストア(SDカード)」を選択します。
- [3-3] vCardファイルの選択のポップアップが表示されるので、「vCardファイルを1つインポート」→「OK」を選択します。
- [3-4] 手順[2]で出力したvCardファイルを選択→「OK」を選択します。



その他の操作手順

- 手順[4]Eメール着信音を連絡先ごとに設定する
- 手順[5]Eメール指定全受信のリストを編集する
- 手順[6]Eメールアドレス帳を削除する
- 手順[7]送信確認画面を表示する／しないを設定する
- 手順[8]ヘルプを表示する

●Eメール着信音・指定全受信設定の編集

Eメール着信音と指定全受信のリストの設定は、手順[1]の方法でEメールアドレス帳から引き継いだ後、個別に編集することができます。以下の手順[4]、[5]をご参照ください。

※Eメール着信音と指定全受信設定で設定できるのはそれぞれ最大200件となります。

[4] Eメール着信音を連絡先ごとに設定する

- [4-1] Eメール画面で、**MENU** →「設定」を選択します。
- [4-2] 「通知設定」を選択します。
- [4-3] 「着信音の鳴り分け」にチェックを付け、「着信音個別設定リスト編集」を選択します。
- [4-4] Eメール着信音設定一覧画面が表示されるので、「追加」を選択します。
- [4-5] 「本体連絡先を参照」を選択します。
※「直接入力」を選択すると、アドレスを直接入力して設定することができます。
- [4-6] 連絡先一覧が表示されるので、設定する連絡先を選択→「着信音」を選択します。
- [4-7] 着信音の種類を選択→「OK」を選択します。
- [4-8] 「OK」を選択します。



[5] Eメール指定全受信のリストを編集する

[5-1] Eメール画面で、**MENU** →「設定」→「Eメール設定」を選択します。

[5-2] 「受信・表示設定」を選択します。

[5-3] 「メール受信方法」→「Eメール指定全受信」を選択します。

[5-4] 「Eメール指定リスト編集」を選択します。

[5-5] 指定全受信個別設定一覧画面が表示されるので、「追加」を選択します。

[5-6] 「本体連絡先を参照」を選択します。

※「直接入力」を選択すると、アドレスを直接入力して設定することができます。

[5-7] 連絡先一覧が表示されるので、設定する連絡先を選択します。



[6] Eメールアドレス帳を削除する

手順[2][3]で必要なデータを連絡先に引き継いだ後、使用しなくなったEメールアドレス帳は、以下の手順で削除することができます。

[6-1] Eメールアドレス帳閲覧画面で **MENU** →「Eメールアドレス帳削除」を選択します。

[6-2] 確認のポップアップが表示されるので、「はい」を選択します。

[6-3] 確認のポップアップが表示されるので、「OK」を選択します。

※ Eメールアドレス帳をすべて削除すると、メニューに「Eメールアドレス帳閲覧」が表示されなくなります。

※ 一度削除したEメールアドレス帳は元に戻すことはできませんので、ご注意ください。



[7] 送信確認画面を表示する／しないを設定する

[7-1] Eメール画面で、**MENU** →「設定」→「Eメール設定」を選択します。

[7-2] 「送信・作成設定」を選択します。

[7-3] 「送信前に確認する」にチェックを付けます／外します。



[8] ヘルプを表示する

操作でお困りの場合は、ヘルプをご確認ください。

[8-1] Eメール画面で、**MENU**→(「その他」)→「ヘルプ」を選択します。

